

杉並第二小学校の改築について



1. 改築に至る経緯

杉並区の学校施設の状況

- ・区立小中学校のうち、築50年以上の建物を有する学校は約半数
- ・昭和50年代をピークに減少傾向にあった児童数は、近年増加傾向にあるが、中長期的な視点で見ると人口減少が予測されており、今後の学校改築に当たっては、将来の児童数の減少を見据えた柔軟性のある施設づくりが求められている
- ・小学校では、学びの場にとどまらず、子どもの安全・安心な放課後等の居場所として学校施設を有効に活用することが求められている
- ・今後、更新時期を迎える学校施設の老朽化に的確に対応するためには、施設の長寿命化による有効活用と年度毎の平準化を図った計画的な改築が必要

杉並第二小学校の状況

- 明治17年 杉並第二小学校 開校
- 昭和35年 杉並第二小学校北校舎建設
(昭和37年、同40年、同44年増築)
- 昭和41年 体育館建設
- 昭和53年 プール・教室棟建設

改築計画の具体化(区)

- 平成30年度 杉並区実行計画により改築事業の計画化
- 
- 平成31年度 杉並第二小学校改築検討懇談会開催・基本設計策定

3. 杉並第二小学校等の概要

<杉並第二小学校>

●児童数・学級数(平成31年4月7日現在)<速報値>

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	119	105	86	94	97	79	580
学級数	4	3	3	3	3	3	19

●施設規模等

敷地面積	校舎面積	運動場面積	体育館面積	プール
10,781m ²	5,926m ²	4,094m ²	614m ²	25m × 10.6m

<杉二学童クラブ>

●入会児童数(平成31年4月1日現在の入会者数)・定員、施設規模等

入会児童数	定員(最大数)	待機児童	学童クラブ専用面積
157名	150名(165名)	0名	288.52㎡

※学童クラブはプール・教室棟内

- ・平成21年4月 杉二学童クラブ設置
- ・平成30年4月 杉二学童クラブ拡張

<成田西災害備蓄倉庫>

●施設規模等

敷地面積	建物面積	建設	構造
306.66㎡	90㎡	昭和53年	RC造

●備蓄品

- ・杉二小、西田小、松溪中、東田中の学校防災倉庫に収納できない備蓄品を保管
- ・都市型災害用備蓄品(水害用)等を保管

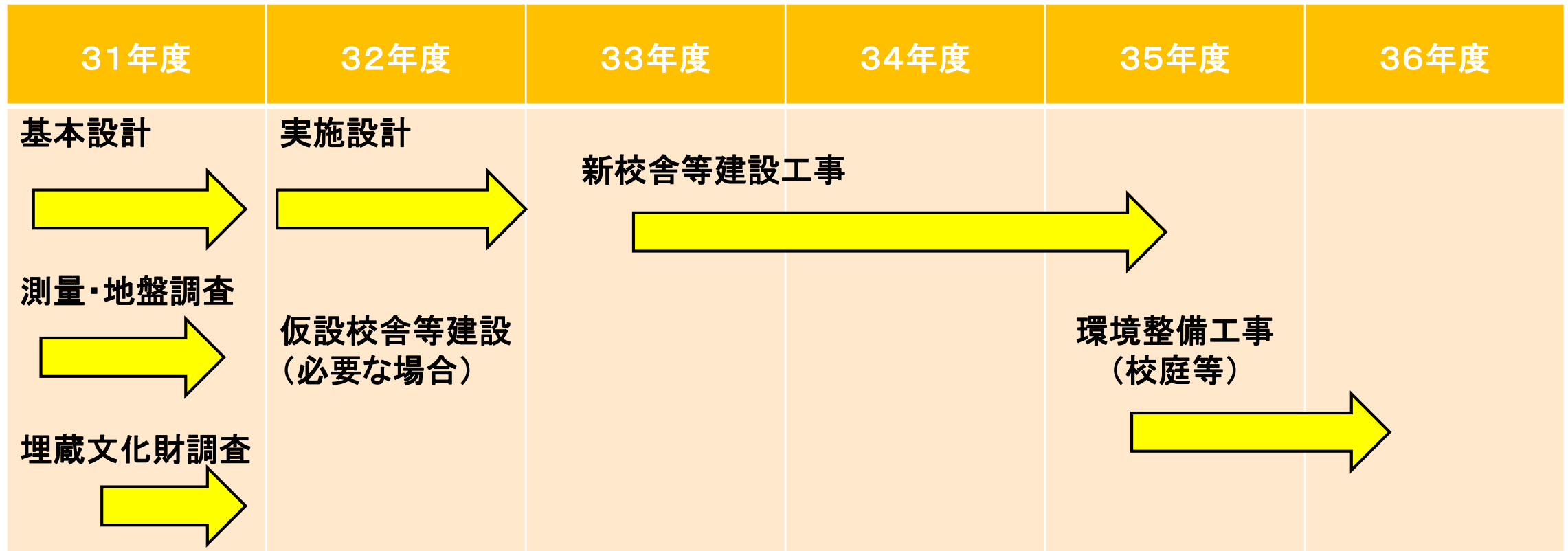
4. 改築検討における主な視点

- ・**将来の児童数の変化に柔軟かつ効果的に対応できる施設づくり**
- ・**現在の敷地にある高低差とバリアフリー対応への工夫**
- ・**さらなる防災機能の充実や地域に開かれた学校づくり**
- ・**コスト面等を含む総合的な視点に立った施設づくり**
- ・**杉並区施設白書に示された、築80年までを目指した長寿命化の考え方に基づく施設の有効活用による改築と全面改築の可能性・有効性の検討**
- ・**改築検討懇談会の幅広い意見を聴き、保護者や学校関係者、地域住民等との合意形成を図りながら検討**

5. 懇談会の開催予定

回数	開催月	検討内容(案)	備考
第1回	4月26日	・学校概要説明 ・改築計画概要説明	
第2回	5月	・施設見学	設計事務所 指名競争入札
第3回	6月	・改築基本方針(目標・コンセプト等)の検討 ・計画地の概要について	設計事務所決定後、 懇談会出席
第4回	7月	・改築基本方針(目標・コンセプト等)の検討 ・校舎配置の検討	
第5回	9月	・校舎配置、平面計画案について	
第6回	11月	・平面計画案について	検討状況について、 保護者・地域説明会
第7回	1月	・懇談会まとめ骨子について ・工事工程案について	
第8回	2月	・懇談会まとめ案について (議論の進行状況によって開催月・回数は前後します)	基本設計完成(3月)

6. 改築想定スケジュール



※敷地条件・校舎配置プラン・工事範囲等により、工事期間等は前後します。

※埋蔵文化財調査の実施時期・期間等は、確認調査(試掘)の結果によります。